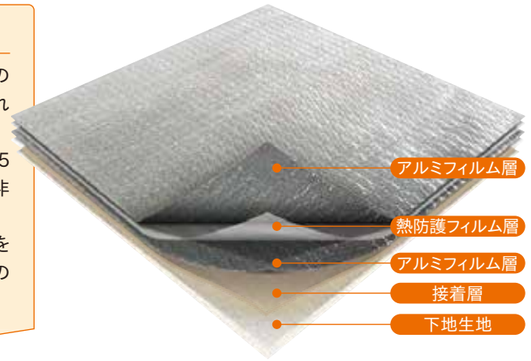
耐輻射熱繊維

熱源との直接接触への耐性がある耐熱繊維に対して、赤外線の輻射熱（放射熱）への耐性がある繊維は耐輻射熱繊維と呼ばれています。
ジーフレックス耐輻射熱繊維は、2つのアルミフィルム層を含む5層を強く凝着させ、世界に流通するアルミ加工繊維の中でも非常に優れた耐剥離性を実現した耐輻射熱繊維です。
最高1650℃までの耐輻射熱性能を持ち、赤外線エネルギーを最大95%まで反射。炉前などの熱源および溶接時の火花からの作業員や機材保護、耐熱服の素材にも使用されています。

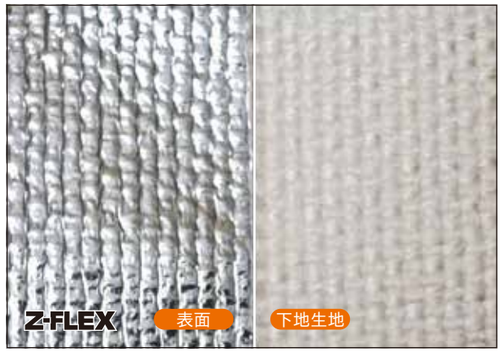


【耐輻射熱繊維】 下地：ゼテックス耐熱繊維

ジーフレックスアルミ加工繊維

下地生地が丈夫なためヘビーユーズにも対応

- 最高耐輻射熱温度：1650℃（接触耐熱温度：175℃）
- 下地生地にはゼテックス耐熱繊維を使用（1頁参照）
- 金属鋳造やガラス溶融などの高温環境下での熱保護に使用
- 下地生地が丈夫なため金属溶融飛沫からの保護などの重工業にも有効
- 下地生地の厚さが異なる各種繊維を取り扱い
- ロール単位での販売です（約45m（50ヤード）巻）
- ノンアスベスト製品

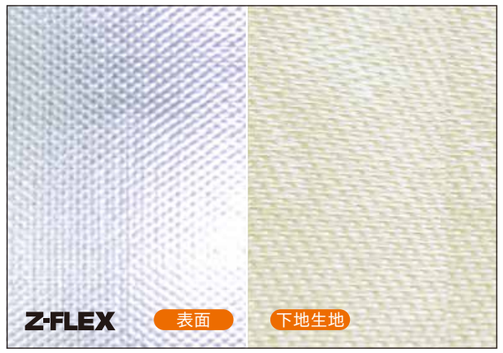


【耐輻射熱繊維】 下地：ゼシル耐熱繊維

ジーフレックスアルミ加工繊維

下地生地が滑らかなため保護対象の傷付きを防止

- 最高耐輻射熱温度：1650℃（接触耐熱温度：175℃）
- 下地生地には柔軟性に優れたゼシル耐熱繊維を使用（1頁参照）
- 熱源付近の作業場や生産設備などの断熱カーテンの素材に最適
- 自動車生産工程の高温環境下での作業員・車体保護にも使用
- 下地生地が滑らかなため掛けた時に傷つきにくくなっています
- ロール単位での販売です（約50m（55ヤード）巻）
- ノンアスベスト製品

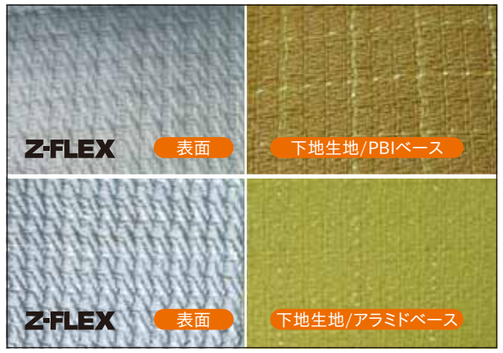


【耐輻射熱繊維】 下地：モックニット耐熱繊維

ジーフレックスアルミ加工繊維

防火服のために開発された軽くしなやかで強い繊維

- 最高耐輻射熱温度：1650℃（接触耐熱温度：175℃）
- アメリカの航空機事故の防火服の素材として開発された耐輻射熱繊維
- 下地生地には非常に軽く柔らかい独自モックニット繊維を使用
- ニット生地に似た心地良さに加えて強さを持つ先進的な織り方で製造
- モックニット繊維はPBIベースとアラミドベースの2種
- 多面的な織り方で作られているためアルミ層との強力な密着を実現
- ロール単位での販売です（約45m（50ヤード）巻）



※ジーフレックスはニューテックス社が販売する耐輻射熱繊維のブランド名です。

ジーフレックス耐輻射熱アルミ加工繊維（下地：ゼテックス耐熱繊維）仕様

品番	厚さ	幅	長さ	1m²あたりの重さ	最高耐輻射熱温度目安	1インチ(2.54cm)あたりの編み目
1100386	0.58mm	147cm	約45m	441 g/m²	1650℃まで	縦19×横12
1100398	1.22mm	102cm	約45m	915 g/m²	1650℃まで	縦10×横8
1100388	1.02mm	147cm	約45m	915 g/m²	1650℃まで	縦20×横14

ジーフレックス耐輻射熱アルミ加工繊維（下地：ゼシル耐熱繊維）仕様

品番	厚さ	幅	長さ	1m²あたりの重さ	最高耐輻射熱温度目安	1インチ(2.54cm)あたりの編み目
1100420	0.71mm	147cm	約50m	746g/m²	1650℃まで	縦48×横33

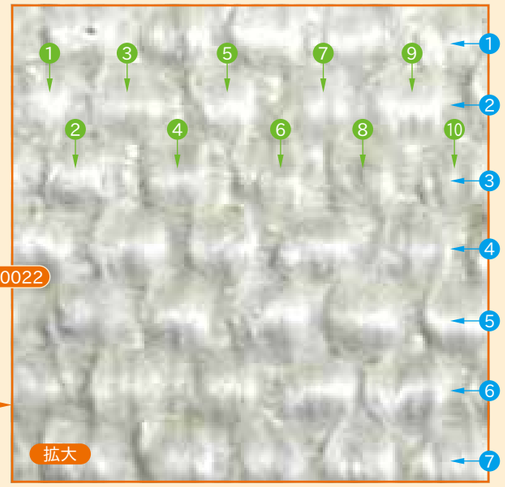
ジーフレックスシルバー耐輻射熱アルミ加工繊維（下地：モックニット耐熱繊維）仕様

品番	厚さ	幅	長さ	1m²あたりの重さ	最高耐輻射熱温度目安	下地生地
1100391	0.61mm	147cm	約45m	251g/m²	1650℃まで	モックニット-PBI
1100390	0.79mm	147cm	約45m	305g/m²	1650℃まで	モックニット-アラミド

【参考】

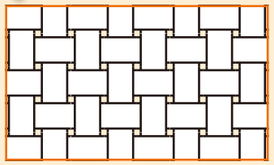
1インチ（2.54cm）あたりの編み目

仕様表には1インチ（2.54cm）あたりの編み目の数が記載されています。ニューテックスの耐熱繊維製品は6ミクロンの細いシリカ糸を束ねた太い糸を編み込むことで生地を生産しています。平織りされた繊維は縦と横の糸の束で構成されており、1インチ（2.54cm）あたりに含まれる糸の束の数は製品により異なっています。



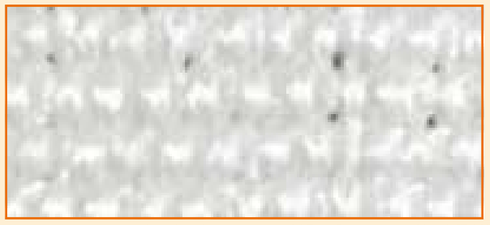
平織りのイメージ

- 縦糸と横糸を交互に重ねて織ります



例：ゼテックス耐熱繊維1100022

比較例：ゼテックス1100011※



比較例：ゼテックス1100023※

※ゼテックス1100011およびゼテックス1100023の製品情報は1～2ページをご参照ください。